

風見

寝れぬ夜を
慰るであらう
我が青春の哀歌

NO2

目

次

主将のことは	2
46年度部の沿革	3
幹部のことは	6
現役部員の作品	9
海でひらいた話クラブのうわさ話	33
食当日誌より	35
部員プロフィール	37
編集後記	45

「風見」まぎれもなく昨年、我々の頭を悩ました名であります。それが今 Vol.2 の発刊にあたり原稿を下れとの事で、我東京経済大学ヨット部の一年間の歴史の重みとそしてその歩みとを肩に感じながら筆を取っている所です。現役はとかく自分達で自分達でとくり返しながらクラブをやっているものですが、この自分達でやって来たクラブも、目にみえぬ支援と、そして歴史の中に顔を忍ばせている人達によるんだなと考えた時、頭にかっと血が登る思いです。

この様な歴史の重みを感じた我々部員一同はその歴史の重みが期待するクラブ活動そして関東学生ヨット選手権を裏切る事のなりよう心に銘じて居ります。

今後共御指導御弁産の程宣しく御願ひ致します。

主将 富田秀隆

46年度 部の沿革

2月 コーキング合宿に於き シーズン明け

3月 イニカレの強化合宿

4月 新人部員勧誘 (15名 2年1名)

5月6日 関東個人選手権 (於 葉山 森戸沖)

S級 1471 工藤 永山

1561 吉田 阿部

A級 1171 長谷川 宮崎

1263 富田 木村 順

13~15日 関東学生選手権 (於 葉山 森戸沖)

S級 1471 工藤 永山

1374 小嶋 五十嵐

1516 吉田 阿部

A級 1171 中野 川島

1250 富田 木村 順

1263 長谷川 宮崎

成績 3部校 50校中18位

6月 役員改選 (7期から8期)

主将 富田 副将 長谷川

総務 吉田 会計 五十嵐

主幹 宮崎 学連 川島

7月 S級 1471 1516 売却

8月 14日~16日 対東北学院大学戦
(於 宮城県 板島沖)

S級、A級 各3艇

テイクアウト健闘

18日~29日 夏季合宿

(OB対抗戦
A級 S級入替戦)

スナイプ 新艇 FRP 2艇購入

19409 19410 石原造船所

9月 17日 水泳大会 3年連続優勝

スナイプ 1艇 監督さんより預かる (18722 FRP製)

関東女子ヨット連盟に加盟

10月 強制アルバイト

11月 10月31日~11月2日. 関東学生新人選手権.

S級 18722 五十嵐 木村雅.

1516 吉田 阿部

1374 木村暉 広田

A級 1171 永山 田畑

1263 川島 杉田

1250 宮崎 山崎

成績 予選Cブロック 13校中 9位.

22日. ホーリック大会 (中神ヤングホーリ)

中回中野杯争奪戦

現在艇数 (9艇)

S級 19409 19410 18722

1374 10671

A級 1263 1171 1250 (マックホーリ)

Y-15.

幹部のことは

。副主将 長谷川 廉二

任期を滞りて早くも五ヶ月程経ち、約半分が過ぎたわけですが、運営の難しさを痛切に感じています。今まで、主将を中心に幹部一同クラブ造りということを目標にしてきました。それが着々と出来上がってきたので満足しているのですが、これに妥協せずこれからも一層の努力をしようと思っております。オフを迎へた今、色々反省とか、来年の計画を考えていますが、今年と違い、とに角来年はインカレに勝つという第一目標を強く押し出して活動に臨もうと思っております。この気構えは誰しも同じであらうが、私の場合のニュアンスは、来年のインカレに、自分が三年向やつてきたすべてのものを出し切るということであり、そういう状態に自分を持つていく為に克己心を養おうと思っております。少々私的立場の言い方になりましたが、あと、我々に残された課題は脱三部とわかりきっているのだから、これを達成するのみ。大いに頑張ります。なお最後に、御多忙と存じますが、なるべく多くの日程の方々に合宿所に来て頂き、活動状況を御覧願います。

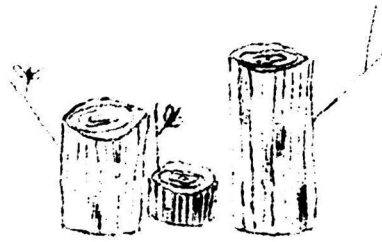
い申し上げます。

。総務 吉田 三良

総務というポストを引き受けて、やっとな前半の六ヶ月が終わった。このやっとなということばが今の私にとつて一番ピツタリの言葉ではないのか。当初は軽い気持ちで引き受けたものの、夏合宿、東北遠征、新人戦と順を追って消化していく上で、総務の仕事の重要さをひしと身に感じ、総務としての自分のふがいなさをつくづく感じた六ヶ月であった。総務とは……六ヶ月過ぎた今なら一応の解答を出せるつもりである。今日ではあまりにも迷える羊であったと思う。即ち、仕事の内容を自分なりに勝つてに、形式的、抽象的にしてしま、結局は暗中模索で仕事をしていたのである。わかからなくしていたのである。今我々のクラブは上昇ムードの真あり、その意味でも、総務はその手遺憾なく発揮できる時でもあるので、後半六ヶ月、前半のミスを

生とのコミュニケーションをよくし
自己開発を怠らぬように努力してい
くつもりである。

※最後に一言、自分は何をなすべき
か、そしていかになすべきかは、自
分の体験の中から学びとること、こ
れを私の結論とする。



。学連になって

川島佳峯

今年の六月に学連委員になって早や
半年ほど過ぎたが、今までの私の仕事
を振り返って見て、又実際に関東学連
会議等に出席し十分に自分の責任を果
せずに返して来た事に対して反省の念
にたえない。

学連になった当時軽く考えていたこ
の仕事もやめて行くうちに、多々困難
な問題にぶつかり、いまさらながらこ
の仕事のむずかしさと責積の重大さを
痛感している。

実際、学連会議などにおいて、我が
クラブのみならず他の二部、三部校等
の意見・主張がとまずれば軽視されが
ちな学連会議の存り方に多くの問題も
あるが、私自身残った半年の任期のラ

ちに、単に堂連とクラブの「連絡委員」として平穩無事に終えるのではなく、我々の意見を十分に反映させ、満足のいくような仕事を、行うべく全力で頑張るつもりです。

○主務渉外

宮崎幸雄

今年六月に現役最上級生として部の運営活動に参加して以来、いろいろな事をやってきました。自分の仕事にも慣れ、これから出来る限りの事をやって行きたいと思っております。そして一個の部の運営というものが如何に難しいかを痛切に知り、覚悟を新たにしている次第です。今年も東京経済

大学ソフト部にとってあらゆる面において飛躍の年であると思われれます。部組織の再編成、新艇の購入、成績の向上などに特に重点をおいてやって居りますが、これらのあるものは着実に実行されつつあります。そして現状に満足することなく、もっともっと向上することを目指し、一人一人の自覚と努力をもって可能にしようではないか。そして来年のインカレにはかならず優勝を得よう？はないか。

・合宿マネージャー 玄田順

合宿マネージャーとは金庫かかえて帳面つけるものであるらしい。ともかく私がこれをやるようになったのは夏以降のことです、突然言われて驚いた。

現役部員の作品

断想

一年 井波 幹雄

学校というストイックなテープロ
コーダは僕の意志を腐蝕させ
刹那的な欲望が僕を誑かす
失望の淵から行動への志向が始った

冬の寒い透み通った空に
オリオリ座が青白く瞬いている
その中で僕を魅了する月の「リゲル」
リゲルはいつも一番青く
冷やかに瞬いている

なんつ口マンチストなんだ
恋に恋してばかりいる
喜劇的な結末

ごもピエロな一ではストーリーは進まな
いんだから

一年 田畑 博幸

ヨットは俺を育てる
海は俺の血潮
夕陽は俺の涙
セーリングは俺の汗
自然は俺を育てる

海に沈む夕陽・・・
その紅々たる光は一日の
終演にふさやしいドラマ
山に沈む夕陽・・・
その黒い雲に映える黄金の
ふちどりは 日への叫び

俺を魅了する自然は俺を育てる
ヨットは俺の青春
ヨット部に賭けた青春
ヨットマンとして人間として

人生の粒としたい

インカレ 一年上総 雄二

僕がヨット部に入って、もう半年
又上過ぎた。その間に二つのインカ
レがあった。一つは五月のインカレ
もう一つは10月から11月にかけての
新人インカレである。五月のインカ
レは、当然一年は出れなかつたけれ
ど、来年こそは一生けんめい練習し
て出ようと思う。なんといつてもレ
ースは出なければ話にならない。陸
で見ているなんてばかりしい。他の
一年が出ていくのを見ると頭に来る。
結局今年も彼等に負けただけか、
来年こそは追いぬこうと思う。
しかし、インカレというものは、
良いものだなあと思う。船が出て行
く前に各大学共エールをして、フレ

ーフレールという声に送られて緊張した
顔で出ていく先輩たち、又同僚、沖を
見れば何十艇もの船の真白いセールが
太陽の光を反射させて走っている。レ
ースが終れば疲れたような、又満足し
たような顔をして帰ってくる出場者。
僕も早く出たいなあ。

タバコと鬼 一年 加藤 慶太

ある朝僕が目をさましてみると
牢に閉じこめられていた。
牢の中は薄ぐらく、天上に小さな穴
があいているだけであった。
目がなれてくると牢内にはほかに十
人近くいた。
みんな裸にされていた。
その時、僕は頭を何者かにつがまれ

そのままた井の穴から出された。
おもわず僕口息をのんだ。

石手いしでに大きなたい松たいまつを持もった。鬼おにが
いるのである。

鬼は僕の頭をつがんで口にもって
いい、たた。頭あたまをくちびるで押おえ僕
の足をたい松たいまつでやくやくつもりであ
る。

僕はもう終しまりだと思おもった。
その時鬼おにはある物ものを見た、それに

は、に、ううももろろと書かがれてある。
短みい針はりと長ながい針はり、それそれに袖そでへて

長ながい針はりがそれそれに付ついていた。
鬼おには「あ、りけむりけむえとミミイイニニクク

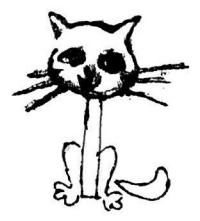
に通とぬれる。
たばこたばこを吸すって、いるいるひまひまはねえ

と言いって出でていい、た。
僕ぼくはほほとしてすすいがらいらいれいれの横よこ

ご胸むねをななでおろした。

合宿食当事情

一年 田中 朋輝



僕は合宿がしやくにおける食当しょくたうをややって来きて
以下いげの事ことがわわかりました。

一日いちにち28人にん分ぶん二千円にせんえんを会計かいけいかららおおいいしい
物ものを作つくれ、と言いわれれて手渡てだわされます。
二千円にせんえんですから一食分いしょくぶんは次つぎの計けい算さんでわ
かります。

2008.13 #667

したしたが、て28人にん分ぶん一食分いしょくぶんは約やく667円えんに
なりなります。ここは一食いしょく一人ひとり分の食費しょくひはい
くらくらか、667.128.25

ゆゆえに一食分いしょくぶんは約やく25円えんになりなります。
ですから私達わたしたちには一日いちにち275円えんもの食費しょくひ
ががかかっっていいるわけわけです。

ちなみに今日の日本経済における物
価をお知らせします。タマゴ一個15
円、ダイコン一本60円、キャベツ一
個100円、生協のカレーライス(小)80円
となっています。

私達東京経済大学ヨット部は一日
二千元の食費で、上位進出を目指し
て頑張っている次第であります。

ヨットの内情

一年 田中 展郎

ヨット 君はこの言葉を聞いてど
お思いますか。ブルジョア階級のス
ポーツ、金持ちの息子さん、かっこ
いい船にか。こいい服、女の子には
何かもてそうな感じがする。以上の
ような事がでて来るんじゃないです

か。

ヨット 僕が実際にやって感じた事
は次の通りである。ブルジョアには全
然関係なし。毎月毎月会宿費部費を払
うためにアルバイト区し、向うが生活
している。それでも無残にも免納金は
たまる一方である。金持ちの息子など
とんでもない。船はかっこいいけど服
はどうか。水で汚れた服、破れた服、
何日も洗ってない服。まるでエジキの
服にでも間違がわれそうである。女の
子にはもてそうだが、でも時にヨッ
トをやって女の子にもてたと感じた事
はないように思う。せめてこれだけ合
っていたら。したがってヨットとは見
た目と事際や、た事實は違っているの
である。最後に一言、ヨットを甘くみ
たらいガンデエー。

無題

杉田 清二

生まれて初めてヨットに乗った。

あの時の感激は忘れまい。

叱られ、こわがった時のことを……

夢中で乗っていた事も忘れずか

ずに乗っていた。

あの時の事も忘れまい。

青く輝く空、

美しくそびえ立つ富士の山、

絵のようなそれを背景に菜山の海

に木の葉のように浮かんでいた

あるヨットの事も……

食当く、で追われ、何にしようか

と迷った時の事も忘れまい。

自然に触れ、自然をわすれがなりと

も知り、読みとって走られ、楽

しむスポーツに入って半年、

この騒しい世の中でわすれがではあ

るけれども自然とともに過ごせ

たことに何か、人より自分はず

福ではなかったのでは無いのだ

だろうかと思ふ時がきつとあるに

ちがいつかい無い。

少女

一年 山崎 淳一



広くはてしない海に

ちいさなヨットで浮んでいた

ひとりつきりで……

かもめたちの語らいの中で

静かに波の中にとけてしまいたい。

みどりの海の中で

ちいさな魚になってしまいたい
ひとりっきりで……

魚たちの語らいの中に

人魚の悲しい恋の話を聞きたい

大きすぎる自然に向って

ちいさなちいさな投げキスを
したい

ひとりっきりで……

潮騒のひびきの中で

ちいさな私の姿ほうずれている

魚

一年 山崎 研一

きちんと身につけたこけらを銀色
に輝かせて好き勝手に泳ぎ廻ってい
る魚は一体何を考えているのだらう

？

人間世界の様存男同志の余情……
れに彼女との、又彼氏とのささやき
はたえず存在するのだらうか。

両親と顔を合わせながら生活して
きたわけでもなく、兄妹の顔も知ら
ず、ただ毎日餌を求めて泳ぎ続けて
いるのが——冷たい水の中で——。

人間世界の様に対人関係のわず
らほしさも知らず生きている。お前
達は幸甚がもし水なり。晴天の日に
もがかわらずいつも濡れているお前
達は一時しのぎの軒下さえも不要だ
。そしてあしたのために——と考え
る時があるのか。知っている奴が誰
一人として居ない世界に生き続ける
お前達は孤独だけ強い。

孤独な者同志孤独観から脱する為

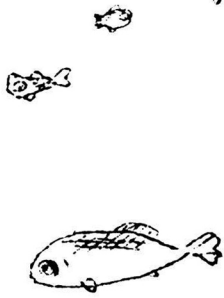
に群をつく、てりるのか？

それとも水中世界の恐怖を和らげ
る為に群をつくるのか？

いづれにしても「孤独」の看板をさげ
ながらも小川を群をなして泳いでる
お前達はその事を俺に感じさせてる。
それ故にお前達、魚は美しく見る
人の衆しませてくれるのだ。

水だけしか飲んだ事のないお前達
に熱いコーヒーでも飲ませてあげた
い。

そして最後にお前達の住み家、
所々次々と破壊してゆく人間に「自然
美を受する事」の大切さを声を大にし
て叫びかけた。



M.Oとの愛の終りに

捧げる詩

一年 山根 敏夫

揺れるカーテン

忍びよる冷気

うつろな光

柔らかいベットの中の

けだるい朝のぬふめ

自由にあこがれた頃

春が来て夏が終わり

秋の夢の中に冬は訪れ

時間は素早く過ぎ去った

幸福 そう幸福

光の中で撫でた髪

とらえられたまなざし

壊れそうな身体
すべて僕のものだった

失われた日々よ

残酷な恋を砕き、

甘美な痛みを残した

震える惱

不規則な鼓動

自嘲的な笑いの中に

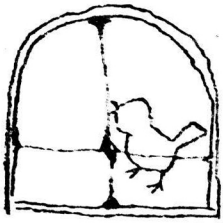
零れ落ちた苦い涙

忘れられた

ブルースト的气氛

虚無な快樂という

愛の炎。



ヨット雑感

一年 吉井 敏夫

ヨットは生きもののようだと思う
時があった。ヨットは生きた感情を
持って海を走っているみたいだ。と
きにはやさしく優雅に、あるときは
荒々しく激しく、生きものみたいに
感情が、ヨットから感じられる。微
風のときはすべるように走って優雅
でいい。強風のときはあえぐように
波を切って力強い。ヨットの姿はい
つみてもいいものだ、と思う。
優雅さと力強さというふたつの性
質が、ヨットの姿から感じられる。
船体のライン、風をはらんだセイル
が描く曲線、バウから飛ぶ水しぶき、
などやはり美しい。それから強風の
なかをバウを波にぶつけて走ってゆ

く事は力強く、ぼくはしびれています。
野性的で豪快だ。

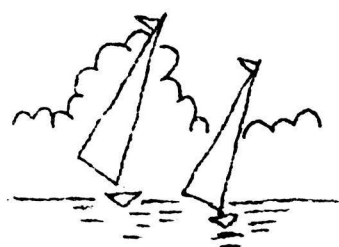
一シーズンを終わって感じたことは、ヨットのむずかしさ、きびしさということだった。カッコよいスポーツというより、とても地味な努力のいるスポーツとさとりしました。コッゴツと地味で真面目な努力が、さばるしい帆走にっながってゆくのだ。

さあ、東経大ヨット部、

とび出そう。

大いなる海へ、

あの大いなる海へ！



二年 神川 一正

俺は今日も又、海に出る。

風のみで走る 小さなヨットで

この海が鯨のように荒れ狂う

その瞬間俺は 神に祈る

神に見放された俺に残された道は

死をしかたない

お故に今日も又海に出る

なによりも俺はこの海が好きだから

蒸気

二年 小日向 高志

二九九年×年、八月二十二日、ある男が蒸死した。その時彼は44才であった。二九九年〇と二九九年×年しん々の蒸気は、続いていく。なぜなのだろう？

それから数年後、日本アルプスに登

山して遭難してしまつたある登山者
が、山深い森林で、自然にとけこみ、
生々し飛び廻つてゐるある生命を見
つけて、何か、何かを感じたといふ。
ある男は、人類が誕生して、今日
まで進歩した。いやあまりにも進歩
しすぎた社会から、自分がいままで
造りあげてきたものを、すべて捨て
て蒸発したのだ!

——蒸発? いや逃げだしたのぢらう
か? ——

人間だれでも、圧迫されず、自分
の意志で自分の思うままに、行動し、
生きてみたいと思つてゐるのではな
いだろうか(だれにも干渉されずに)
そして、その氣持が、

積りかさなると!

思い出

二年 広田 順

思い出、何ともフワフワした、あま
い言葉だろう。私の三つか、四つの時
の記憶は、しばしば、ふとした瞬間に
現われて、フツと消えてしまふ。何度
もそんな事か、くり返されてゐるうち
に、固定して、写真のようになつて
しまつた。そんな記憶には何ら特別の
意味もない。ところか、物心ついてか
らの記憶はそうはいかない。ほとんど
の記憶には何らかの感情がつきまとつ
てゐるからだ。私か樂觀的なのか、苦
い思いも、時間の経過に移らぬ楽しい
思い出になつてしまふ。昔はよかつた
と老人がよく言う。老人には昔を思い
出して樂しむ権利がある、それは老人
が前進することかできないからだ。だ

から老人は老人なのだ。新しい事に
向うことかこわい。こわくてできな
い。そんなの男じゃない。いや男も女
も関係ない。思い出をつくるために
何かをやる。そんなのもやっぱり老
人のやることだ。何かやるなら、生
きる目的になるようなものに向うか、
さもなければ、何の目的もまたおた
やらなければ。そう思ってもなかな
か思うようにできない私なのです。

雲

小学校の二年か三年の頃のこと。
私はカセをひりてしまつて学校を休
んだことがあった。太陽の光が、部
屋の中にさしこんで、ふとんの中か
ら窓の外をじつと見ていた。見える
のは、四角のわくでかこまれた空だ

けだった。いつも見ている空とちがっ
て、頭の真上の空は、やけに青かった。
そして無声映画でも見ているような気
分で、白い雲がゆっくり、わくの下の
すみからはい出して、上のすみに入っ
ていくのを見ていた。私はいらいらし
た。雲が、こんなにもろのろ動くなん
て！、ちくしように走るならさっさと走
れ、止まるならじつと止まっていよう！
……………

何かで雲は空の高い所と低い所では
反対の方向に動いている事があると読
んだ。私はすぐ外にとび出して、雲を
見た。たしかに雲は動いていたが、逆
になんか動いていなかった。あちこち
の方角を見まわしたが、どの空も同じ
だった。首がいたくなつた。
今、ヨットをやるようになってから

Vous ne le connaissez point
gens de la terre!
Nous autres, nous l'aimons
et nous le redoutons.

MAUPASSANT ; Sur l'eau.

空を見る機会が増えた。雲を見れば、
風がわかるそうだが。だが、私には、
まだまださっぱりだ。

秋の夜

黒川 由利子

恐ろしく長い沈黙の中で
ぼやけた宙をみていたらネ
煙草の煙が青になったの
とびおきてモラー一本吸ったネ
今度はピンクの煙が出たの、
ひょっとしたら、モラー一本。
そして緑に変わったの、
気がついてみたら灰皿に
つぶれた煙草が六本、
や、ぼり夢だ、たのかネ。
そんな煙草があったらさ、
楽しいだろうね、
どんなにさみしい
た、たひとりの秋でもさ。

練習

木村雅勤三馬

十九八七……一ゼロ「スター

ト

解は、死人に魂しいを入れられた

ように動きたす

デッキの上にはうつぶせになる

ジブを引き過ぎないように気を配る

かたいからは、汗がニジミ出る

「タシクレーバウがスーッと振れる

落ち着けと、心に念じながらジブを

かえす。

反対の舷に寝る

またタックだ風がよくシフトする

上マークまで五艇身

鮮かなオレンジ色のマークに

引きつけられるように近づくと

逆ヒール、きれいな弧を描きな

がらマークをかかす

すばやくウィスカを張る

ピルピルと音が耳に入る

まわりを見るとき、三バイ引き

かえしていく

あわてて、本部船を目指す

あたり一面からモヤが出だす

本部船にもやう

ものの五分もたたない内にスツ

カリと霧に包まれてしまった。

陸も、霧もポンドもなにも見え

ない。

沖の方からの強い漁船の音が耳

に入ってきた。

だんだん大きくなってくる

突然大きな魚船が、現われ

モヤの中に消えていった。
今、自分はこのロマンチックな出
来事に酔っている
それもつがの向、霧は無情にも
サアツと晴れ渡り
気持ちのよい風が吹き出した
さあまた練習だ。

二年 吉田和道

ヨット部に入部して二年、時が
たつのは早いものである。この向
にはいろんなことがあり、楽しか
った思い出や苦しい思い出などが
いろいろ頭に浮かんでくる。これ
はクラブならではのよさであろう
と思う。また自分が本当について
いけるかどうかとかこれでいいも
のだろうか疑い悩んだりしたこと

もあつた。今でも時々迷うことが
ある。海の遠大さ、自然のきびし
さ、というものを直接膚に感じ練
習をしている時に自分をほつきり
とみつめられるということはずば
らしいことだと思つた。そして海
が自分をほんとうに強くしたなど
思ふ。

二年 阿部謙一

私のパチニコへの情熱は打算や
刹那主義や虚無主義からではな
くロマンテイストのささやかな夢で
ある。しかしまた一発もほいさあ
に終わる。そしてそのではほんとい
気なほいことか、がチャンがチャン
がうがうと玉のぶる瞬間がほんと
もいえほい快意である。

頭の中ががらうっほになり、目は
クギにうつらづけられぬのだ。

嗚呼！

私は田舎のバケモノ屋を懐しく
思ふ。そこに集まる人々の庶民
性も愛ある。ほんら階級もよく
お互いに助けこみ、楽しい世界
を構成する。

嗚呼！わが故郷。

風

黒川由利子

私は月がほほえむのを見た。

そして月が怒り狂うのを見た。

それは私に他人を信ずることと

信じることの恐ろしさ

を教えることの醜さを教えてくれた。

そして私の力の及ばない自然の力

の力があることも

影の力もあることも

凡そ私に教びと

美しい多くの感情をよびよせてく

れた。

そしてそれらの間に

憎んだ人々への恨みを覚え

愛した人々への愛も

残さずしてはいけなかった。

月は今も絶えることなく

私に語りかける。

現在の心境 四年 中野隆昭

現役を退き、準O.Bとなった現

在思うことは、いかにヨット部と

いうものが、僕の生活の大きな比

重を占めていたかということです

・一年の時は毎日の食当、艇運が

・ヨットの基礎の勉強、二年の夏、

からスキツパーをやさしてもらい、
艇を自分で動かせる喜び、三年にな
ってクラブを、運営する難しさをや
そのやりがい等、全く冷静に考える
暇もなかったように思う。又自分を
必死になって見つけようとし、悩み
奔え、グチをこぼした事なども、数
かぞえられない位あり一時はクラブ
をやめようかという時期もあつたが
全てがヨットが中心にあつた事だつ
た。そして、現役時代を振り返つて
思い残す事がないといつたらウソに
なるが、まず満足している。しかし
現在のこの虚脱感は何だろう？何か
する事が宙に浮いている様な感じが
する。これは、さしあつての目標
がまだつかめていないためだろう。

その位ヨットという物は僕の学生時代
の大部分であつたのだ。これからは、
社会人としてヨット部生活を大いに生
かして東大ヨット部の名を汚さない
様に努めるつもりで頑張ろうと思つて
います。又、僕にヨットの大きい広い
意味での面白さを教えてくれた安住さ
んに感謝します。現役の連中よ、これ
からもヨット部の中で自分を見失なわ
ない様に、思い残す事のないヨットバ
カになつてくれ、それにつけても
現役のうらやましさを。

三年 五十嵐 誠

ヨットはクルーと

スキツパーの心で 走らせる船

順不同をお詫び致します

賢い星 三年 長谷川 康二

草花はたやすく人間の足に踏まれ
たいてい無惨に枯らされたり
人間が通るとすべての草花は踏み
にじられる

おとなしい花も、憎らしい花も
真珠はいかに海底に隠れても
人間は必ずそれを見つけて出す

穴をうがって縛りあげ
絹紐の靴に繫いでしまふ
星は賢明だ。彼らは誇らかに

はるか地上から遠ざかり
世界の燈火として
大空高く永遠の安全を保っている

滅ヶ島、油壺クルージングにて

三年 永山 俊郎

。男子等を雨で迎ふる 滅ヶ島
またいつの日か 二人し訪ねん

。忘れじけ かの黒髪の人なり

異郷の地にて 今日も働らく

。我こそと 身を乗り出して 語りかく

記憶にとどめよ カウンターの女

。さんさんと 満天の星 その下に

燈台灯あかり 小さきテント

。満天の 星空の下 テント張る

若き男子等 明日何処へ

。 えば又 話題にのぼる 乙女子よ

みどりなす髪 こぼれる白歯

。 行きずりの 心とめし女 オの名前

文子と書くか 綾子と書くや

。 いろいろとはんごうの飯かき込み

逢いに行くのは スナツワの女

。 あなゆびし 五月の旅も 行きずりの

単なる美し 女にーあれば

。 君は北 我れは南の 仲なれば

未来の女も かくありなんや

。 流これし 生活なれば 好きな娘に

たしなめられて みたくもあるかな

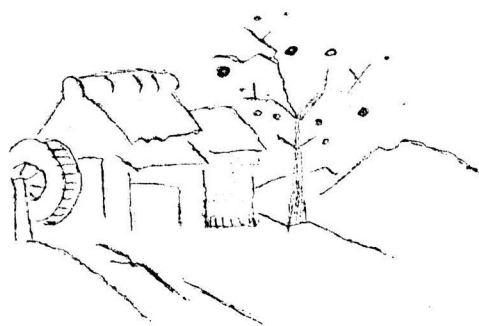
。 かつてまだ博多の街は行かぬども

熱き情けの 芸者いるとか

。 酒をなめ 語らん母は 理想の女

。 酒をくつ 存んの浮世よ 早く死ぬ

。 屁をしても おかしくもな一三畳間



四年 小嶋 孝行

大学に入り、ヨットを始めからはや四年という年月が過ぎようとしてゐる。

この四年間に私はこのような事を学ば、身につけましたと口で言う事はできない。

しかし、昔の友人と会つた時に、顔が変わつたとお目つきが悪くなつたとお言われる事があるので、ヨット部が私に対しておなり大きなものを与えたに違いないと思ふ。

私は、一度始めた事は何か何でも最後までやり通すという事を立派なことでとは思わないが、私個人の大学生活ということに限定して言えばやはりヨット部という一つの組織に

籍を置いて、活動してきて良かったと思ふ。

そして卒業し、社会にでて何年かした後、きつと学生生活へのノスタルジアも手伝つて、『古きよき時代』として、そこに『男のロマン』の様なものも盛りこんで、懐かしくヨット部での生活を思い起こすことだろう。

不思議な事に、その時の生活が、歳しゆれば歳しい程後でそれを楽しみ思ひ出と成り得るのだ。

せがらという訳ではないが、この半年位にいろいろな面でおなり歳しくなつてきたというのは良い事だと思ふ。

その第一の理由としては、言いつくされた言葉ではあるが、自然相手のスポーツだということ、第二には

レースに参加して練習の成果を具現化しなければならぬという事、即ち勝利を修めることを目的としているからである。

しかしたかや勝利という目的の裏には勝つ為の精進をしてその結果かゝる肉体的、精神的な成長という真の、そして大きな目的があることを忘れてはならないと思う。

ある高名な文学者が、『無効性に徹することにより、有効性か生じるところに、純粹行動の本質がある』と言っている。極めて日本的な論理だと思ふが、ある意味では真実である。ヨントをやつていくという事は、紛う事なくここであるという純粹行動であると思ふ。

ましまらずととりとめもない事を書

いてきたか、これは、現役を退いた今、後を振り返つて漏らした一人言参考にしてくれても、読み流してくられても結構。

来春のインカレ目指して皆一丸となつて頑張つて欲しいと思います。良い成績をあげられる事を、期待します。

1971. 19th Nov.

才一回鎌倉江の島間

遠泳大会に参加して

四年 工藤 純一

私は海の子ですらの旅にあれば しみじみと――

泳ぎ終つて江の島の海岸につくと
そこから加藤登紀子の琵琶湖周航

の歌がきこえてきた。その日は七月十二日、夏休みになつてまもない日であつた。鎌倉村木座海岸に集合して、準備体操をやり、体にはワセリンをぬつて、スタート時刻十一時を行つた。海は南の風、晴れ風速四メートル位で、沖のヨットは二人で軽くハイウアウトするくらい、ヨット日和であつた。救助船が赤旗をつけて五・六船行機して、十一時スタートである。「ワー」取杯記者やカメラマンや観客の前をみんな俺が一位をとるんだというふうな旗をして海に飛び込んだ。オーストリア内である。稲村ヶ崎まで三キロを順調に泳ぎ、その半島を出たあたりは潮が強く、後へ戻されて、いるような感じで

あつた。稲村ヶ崎を過ぎると江の島が、ようやくその全景をみせてくれた。右に由比ヶ浜の海岸で海水浴をしている人々をチラリとみながら江の島へ、江の島へと泳いだ。ところが下変、残念な二とに七里ヶ浜沖のオーストリア置桌(五キロ)の手に、さしかかつた時、トップが江の島に泳ぎつき、その時点でオーストリアをすましていないの、タイムリミットにひっかかり救助船にあづかれてしまつたのである。あの時の口惜しさといふ、たらあづられた者しかわからな、と思ふが、うちのヨット部員でヨットレーズでタイムリミットにひっかかつた人、には、わかつてもらへると思う。

しかしどうして私がそんなものに参加したか、というところ、たぶんアルバイトをして、いたピアガート、予ニの天ヨットキの

ビールに昏の気ちがいじみた太陽の
の熱が俺の頭をくるわせてとびこみ
たいという気持ちにさせたのがどの原
因だろう。しかし文明が発達して自
然が少し弱つ失なわれていくがヨッ
ト部に在部して自然を愛する気持ちを
養ひわれ、ど小がどのことをさせた
のかもしれない。

上高地讃歌

工藤 純一

私は旅をするとき未知のものに

あにがれ

そこに展開される風景にかぎらない

夢を求めろ。

このときは美を探求する芸術家で

ある。

頭の中のキャニバスに

ある時はやさしく、ある時は荒々しく

果てしない旅路の美をかき続ける。

私は今、信濃路の山奥深い

“上高地”の旅を想う

信州の山路、静かだ

高く澄みわたった蒼空

蒼空の境に残雪の山岳が雲を呼ぶ。

緑の風も吹いている。

幽谷がはしり、滝瀑が水沫をきらめかせる。

湖、溪谷、水壁

そこには私の求めるすべての物があった。

しかも私の想像の絵筆では

とてと及ばない自然のたにすまいを

もってそこにあった。

春はよかった、

清涼な空気の色をみる二とがふすに

秋はよかった

紅葉は山々をおおい
色彩の変幻の妙をみせた

冬はよかつた。

凍つた岩肌にも男としての

ほまがいを感じた

香り高い上高地の魅力が
今も私を誘惑してゐる。

短歌

工藤 純一

下北の岬の岩に打ちつけし

さかむけ痛く 旅は終りぬ

青春を 肉われ之思う 荒崎の

つらく楽しい ヨットなりけり

思うまま 二年 木村 順一

真夏の太陽の下で私は

ふと思う。

あの娘は今何をしているのだろう。

今日も麻布はいい天気。

早く麻雀したいなあ。

でもあの娘

忘れられないあのほほえみ。

やはり利尻も日本なのだ。

会計から

私は三年生の中から会計という役に指名されました。その時のおどろきといったらとてつもないものでした。私が会計に選ばれた理由はわかりませんが、どうにか今までやってきました。私が会計になりましたら、大分大きなお金が動いておりまして、苦勞しておられます。会計からの注文と致しましては、クラブ員のみなさんになるべくクラブから借金をせずに、今までの滞納金を早く納めてもらいたいと思っておりますので、部員の皆さんの人は、毎月のこずかいから、復の金をさしひいて、きちんと支払日に払って下さい。

会計係

五十嵐

誠

ストーリーから

“安全に乗艇できる事”を念頭にやっているつもりです。クラブの発展に連れてストーリーキーとしるの行事も変わってくるのではないのでしょうか。例えば、強国下での乗艇が増えた現在以前にまして、トラブルが増えた事、FRPの新艇による管理の仕方、メタルマスト、ブームの管理。まだ平の行き届かぬ所があると反省してきます。艇が増え、新種の艇、艦艇品が増えた現在、部員の艇、艦艇品に対するより一増の愛着をお願いいたします。

ストーリー 永山 俊部



※ 幹部のことばの項に

載せられなかった事を

海でひろった

クラブのうわさ話

- 今年一番早く沈めたのはS組1374艇(永山、木村J)
下マーク廻航後のオーバーヒール(3月2日)
一番多く沈めたのは吉田氏。
- 10月の水泳大会でプールサイドをわかせたのは50mビート板で健闘した木村M氏と100m自由形出場の吉井氏。吉井氏は、100mのうちにクロール、バック、平泳、横泳をとりませた。
- 夏合宿に行なわれた才1回のOB対抗戦(これまで何度もやっていたが正式にカップを授かるのは初めて)では3½点でOBが優勝。
- 夏合宿に行なわれた恒例のS組A組入替戦はS組陣のA組での活躍とA組陣のS組での活躍によって2-2で引分け。
- 左の掌に“龍”という字を書いておくとかあやゆる水難をまぬかれる。
- 8月に仙台に遠征をした際、盆と重なり大混雑であった。特にセールやライジャケ等を車で運んだ長谷川氏たちは遠々と10数時間車にのり続け、行きも帰りも大変なそう。
- 仙台弁の“〜や!”というのが夏合宿に大流行した。
- 松島での最終日夕ナギで突然雷雨におそわれ、その激しさはまるで滝の中にいるようだった。
- 茨崎で今年は“ハレンチ学園”“おれは男だ”の口ケ並びに、その他いろいろの撮影が行なわれた。
- TVドラマ“おれは男だ”の主題歌が歌われる時我が大学の1250艇、1263艇が、しばらくの間登場していた。
- 新艇(19409, 19410)のアルミのウイスキーは水に浮く。

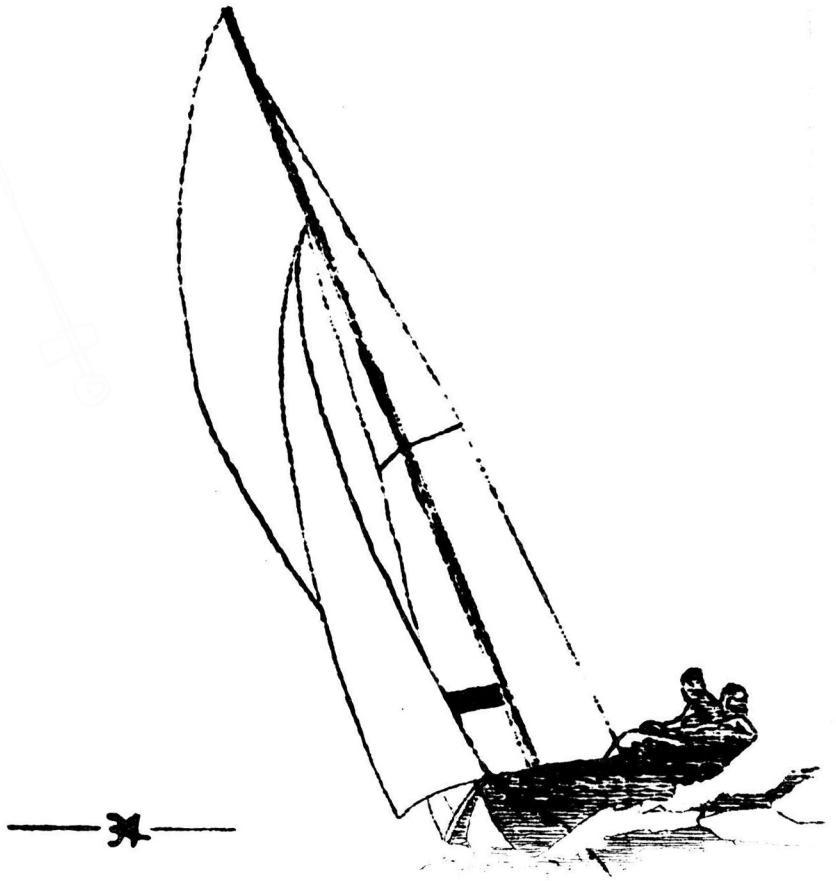
○昨年のインイレではレーヌ艇として活躍し、その後廃艇となりテニガーとなっていた1251艇が船首を大破され、ついに10月20日反と消えた。当日北風が大変寒い日であった。

○今までの艇庫をとりこわし、部員の手で2階造りの頑丈な艇庫が完成した。10艇は裏に収容。

○11月22日に行なわれた第1回中野杯争奪戦で4年生の芳々が用意してくださった3位までのトロフィーを手にしたのは次の方々。

優勝	小日向高志氏
準優勝	室田秀隆氏
第3位	木村順一氏

○生まれ初めてボーリングをしたという広田氏は健闘よくアゲ100突破!!



合宿日記より

X A X 日 曇り A.M. 北の風 肉カ4
 P.M. 北の風 肉カ3
 食当 A.M. 井波、吉井
 P.M. 田中、加藤

朝食 ナットウ 昼食 野菜いため 夕食 カレー

今日は寒い日だった。海がらあがってくる時みんなふるえていた。ヨットは寒い日はほんとうにフシイ。午前中1,2年で陸トレをやった。午前中はスタート練習だけで終わり、レースはやらなかった。午後は充分練習をやったと思う。首腹をハシっていた。

午前 スナイプ

18722 木村(順一) 山崎(研)
 19408 吉田 黒川
 19409 五十嵐 木村(雅)
 1374 阿部 玄田

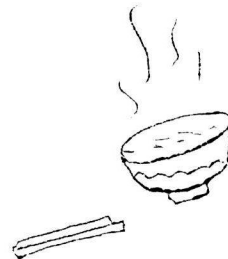
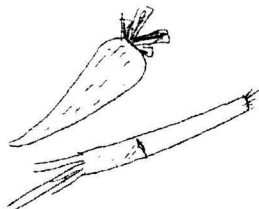
午後

木村(順) 田畑
 五十嵐 木村(雅)
 阿部 黒川
 10671 玄田 山崎(享)

ディンギー

1250 吉田 井波
 1171 永山 杉田
 1263 宮崎 神川

宮崎 神川
 川島 吉田
 永山 小日向



△△△

月カ フm 北の尺

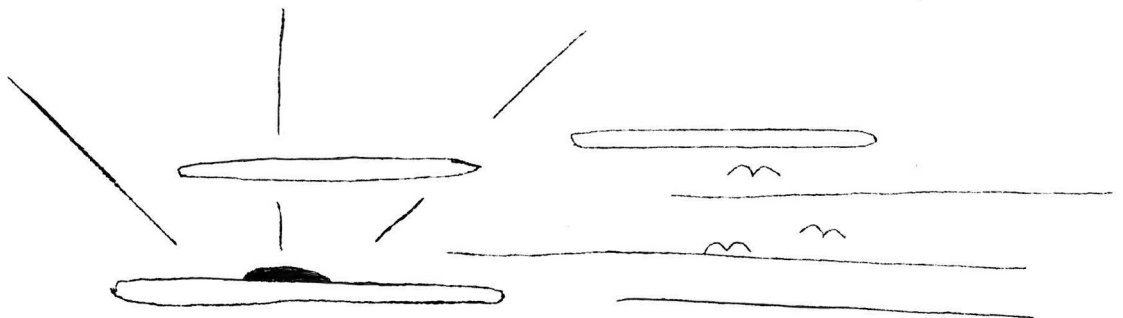
食当 山崎(研) 杉田

朝食 納豆、もやいのみそ汁、つりもの
昼食
夕食 カレー

朝から月が強くて乗艇があやぶまれたが8時半乗った。
月がつよくてセールをつぶすのがとてまこたえた。
よく陸トして腹筋をきたえるけれども、今日はももがとてまいた
く感じたので、腹筋も大事だけれども、ももにもっと耐える力をつ
けてもよりののではと感じました
午後は、ボンドの中ボートに乗って、タック、ジャバフの練習で終り
ました。
船に乗らなかった人は、陸で船庫の建設に、つきました。
今日、交代でみんなバイトをしているので人数が、すくなくなってい
ます。一年は常に5人くらいです
食当がすぐまわってきます食当が、いやだというわけでは、ありませ
んがたいへんです。

午前	19409	吉田	阿部
	12722	富田	本村(順)
	1263	長谷川	久山
	1171	川島	杉田

午後	1171	宮崎、山崎(研)	川島、田畑
		永山、山田(向)	吉田、阿部



部員プロフィール

立十嵐誠 

・出身地 東京 身長170cm 体重64kg
・一年生の頃からS級で、一年の時のインカレで落水、センターをけつてはり上がって来た根性の持ち主。
三年現在、強爪にはめ、ぼう強と自負している。クルーになる人は落ちた時、声をあげて知らせることを忘れられる事がある。

川島佳峯

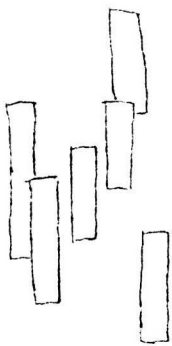
・出身地 北海道、東室蘭
身長170cmを少し地れる。体重60kg前後
・一年間ずっと杉原さんのクルーを努めた。現在もA級である。

* 富田秀隆

酒と女には強い。高校時代は女にモテモテだったらしい。現在クラブの流行言、"YES、I DO、" "ウムマ、ダム" を作りあげた。

・出身地 北海道、函館、身長170cm弱
体重70kg前後

・一年間小島さんのクルーを努めた。S級↓A級↓S級と変っていろ。なを中学、高校時代 柔道、剣道をやっていた根、からのスポーツマンとゆう感じである、その男性的魅力にツビレル。



永山俊郎

。出身地、九州鹿児島。身長 170 cm

体重 60 kg 前後

。S級→A級と変っている。一年生の後半入部、一年間のハントイをものとせず現在A級で頑張っている。三年生の中でも一番年が多いだけに、貫録がある、旅館の体であるのが九州へ行った時は心強り。

長谷川康二

。出身地 浦和 身長 170 cm 体重 60 kg

。A級で一年生の時からスキッパーが長り。やっぱり一番船のことを知っている感がある。三年生の中で一番学校に来ている。勉強熱である。

*宮崎幸雄

。出身地、北海道札幌市

身長 170 cm 足が長り 体重 55 kg 前後

。A級で、タック、ツイブのガンターを一度もはずしてEのことがないのずらしい人である。高校時代にESS(英会話)に入っていたので英語の試験ではいつも楽をくしている。その発音は日本語にもあらわれている。

*吉田三良

。出身地 三重県津市 身長 170 cm

。S級で、S級の中では一番スキッパー経験が長り、乗っている姿勢は、一番カッコよく、下級生

の模範である。二年生の頃たびたび次を経験、一時、次恐怖病になつた。たかなあと思われぬ頃があつた。スポーツは、野球、水泳が得意である、コンパでは芸者ワルツを、特徴のある手拍子であつた。

二年生



* 阿部謙一 スナイプ

。阿部は片田舎、本庄の産である。二年の中で、一番授業に出ているという。うわさもちやほら、しかし、彼曰ク「大学とは、己一人で勉強する所ナリ」と。でも彼はよく屁をやる、恐しり屁力の持主である。

* 神川一正 デイレンギ

。被爆の都市広島はパン屋の産、今だに、生まれ故郷の広島弁がぬけきらず、クラブ員をヘキマキさせている。彼はものすごく好奇心が強い男で「若いうちは取もへつたくれもあらへん」とあつちこつちといそがしり、まるでマメタンクのような男である。

* 木村順一 スナイプ

。日本の女の最果利尻島でとれる。最初、音楽の先生になりたいたと思つていただけであつて二年生の中で一番歌がうまい。なかなかのスタイリストである。

彼は、いつりかなる時りかなる場所でも、ぐっすりねむれる、むしろねむりすぎるくらいで、親にいわれたとうな「おまえは、寝すぎで、いつかそいで身を滅ぼす」とはたしてどうでありましょうか。

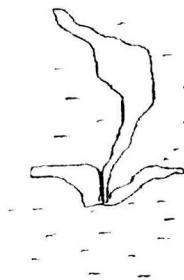
木村雅彰 スナイプ

うちのクラブの中でも出身地の多い北海道は北見産である。ごぞんじ直角なる親指を特徴としている爆笑の人、通称マツンである。彼は、クラブの中で一番の無精者で、合宿中一度、いやいや全々風呂に行かない、まわりが心配でしようがなり。



*小日向高志 アイシギ

。日本海は越後、加茂の産である。彼は全く、ばくちがなりわりには賭博をよくやる、とてまける。彼は、見かけより、だりぶおつちまこちまりである、思わぬ所でミスをやりにゆが賭博や何かに結びつくのであるようだ。



*広田順 スナイプ

。日本の首都は東京の産。通称、昆虫学者、彼は学生の代名詞でもある「競輪、競馬に、パンコ、マッシュを、すべたまスター、いや全くやらず

いつたい何を、たのしみに生きて
いるのかと、一般的学生である我
々は、たいへん心配である、でも
彼にも趣味がある、旅行機のプラ
モデルである、彼は飛行機につい
てはたいへんな物知りである。

吉田一造

デインギ

長州こと山口は大島で、この世に
出現する。

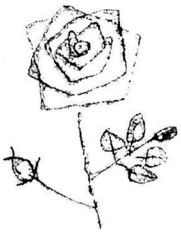
一見、クラブの中で一番が、二番
に横があるが、今年の水泳大学で
ヨット部を優勝にみちびいた英雄
で「先生」という名を受けた。た
いへんふくやがな面をもちあわせ
ている彼は、最近、マーツァンに
競馬にこりだしているのだ、それ

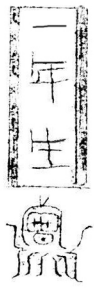
で身を減ぼさなければよむと、少
々心配である。

*黒川由利子 スナイプ

千葉は、新検見川の産、

ヨット部で、ひょとしてラタダー
人の女性である、通称トット子と
いり、彼女の理想の男性像は、藤
村俊二のような、三枚白であり、
我々にもゆがるようである、やは
り「その人ありて、そして、その
人ありである」、みなさん、彼女
の将来は、い、たいとうなるでし
ようか？、？、？、？、？、？、？、？、





井波幹雄

富山出身でマーツァンが強く、学校に行くよりは、雀荘へいく回数が多い男である。

上総雄二

・四国は土佐の高知のと、歌で有名な高知出身で、独特の土佐弁を使う。

加藤慶太

・秋田出身で身長は、ヨシト部の中でいちばんノッポで高校時代野球部でピッチャーをやっていた。性格はのんきである、超大型、

* 杉田清二

・東京ハ王子出身で坊主の息子である。性格はおとなしく静かな男であるが、洋服にはちとうるさい。

* 田畑博幸

・九州熊本出身で九州人独特のマスクをもち、なかなかしぶい男である。コンパのときは青い山脈でギヤラリーをわかっている。

* 田中展郎

・石川出身で中学校の校長の三男である。リフモ元気がよく愉快な男である。ゴールデンヒーフのバナボートを得意の歌とっている。

山崎研一

。新潟出身で釣り道具屋のせがれ
である。来々軒の出前もやるこ
うな

*山崎淳一

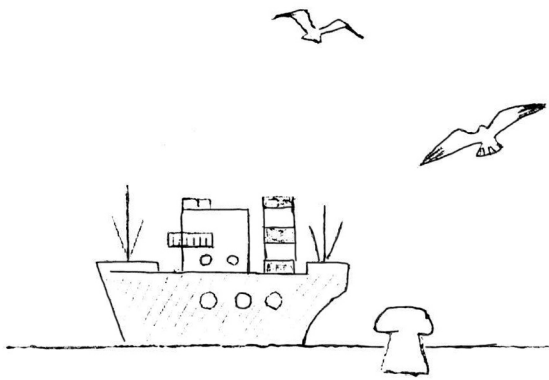
。北はりしごの産地で有名な青森
出身である。なかなかせんさい
な感覚の持主である。

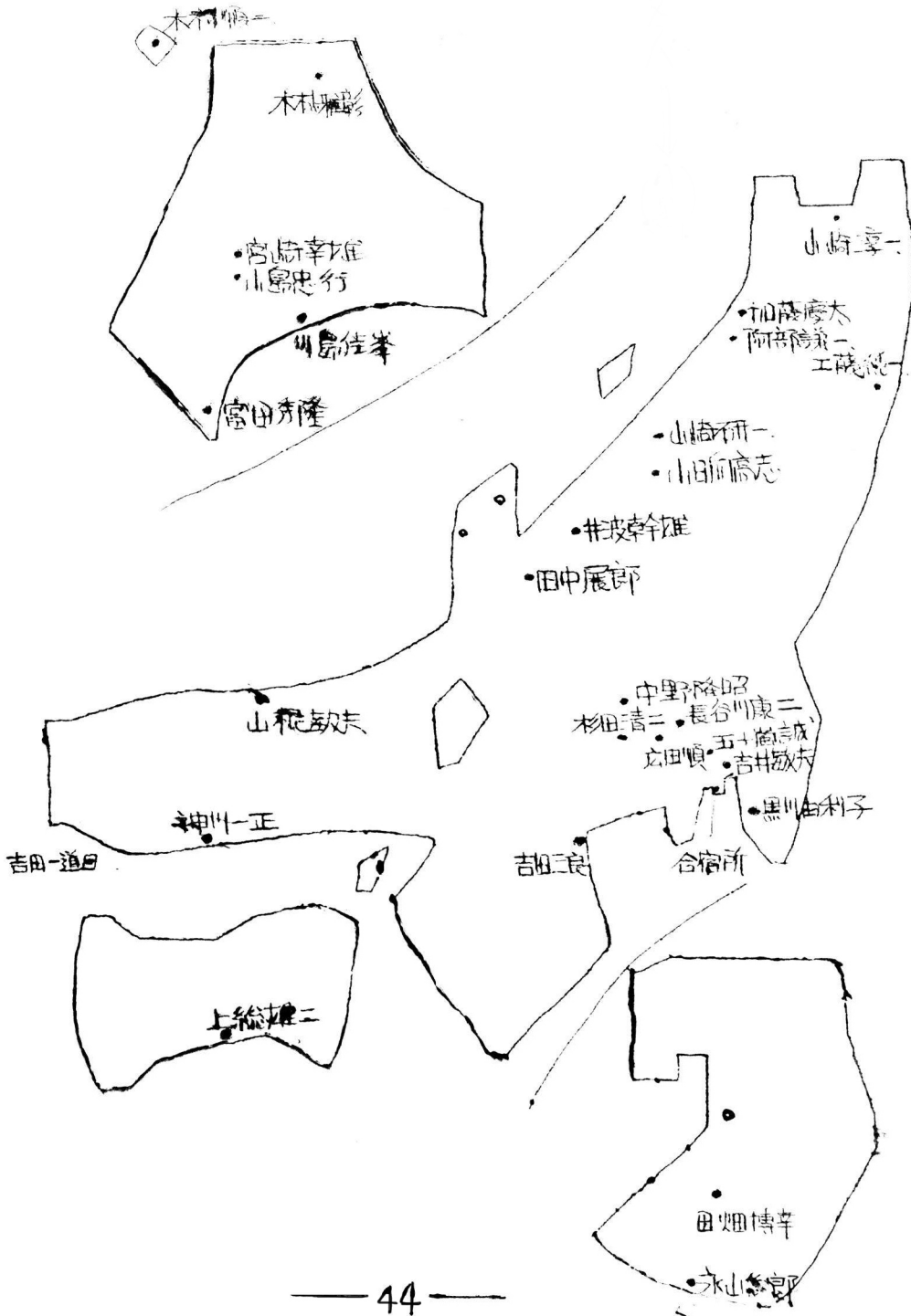
*山根敏夫

。島根出身で氷泳がうまく、スト
ライプのはりったパンタロンで
主目的であった。一時はブロ
ンソンとうめさせられた。

*吉井敏男

。東京蒲田出身で酒屋の息子であ
る彼は、顔と性格が一致しない
男で、たりにへんおもしろいやつ
である。またの名を上野のゴリ
ラ、燃える口びると、呼ばれて
いる。しもんしもんルル





編集後記

昨年に次ぐ文集「風見」の第二号が形を成していくことに北風が冷たく夕暮れが深まっていままゝだ。
「風見」は本年度のクラブ活動の記録です。いわば46年度のクラブの歴史の縮図であります。第二号では作品の他にうわさ話やプロフィール等も編集委員全員で考え載せました。
編集にあたってお忙がしい中を御執筆下さった方々。毎日遅くまで作成をやってくれた編集委員に心よりお礼を申しあげます。
「風見」を通じて部員の心が一つになっっていくことを願ってやみません。

昭和四十六年十二月

黒川 由利子

合宿所

横須賀市長井町荒崎
5261

松本方
0468
(56)
2837

風見 二号

昭和46年12月10日発行

非売品

乱丁落丁は

あとにかえします

編集委員

吉田	広田	神川	小日向	黒川	木村	木村	阿部
一道	順	一正	高志	由利子	雅彰	順一	謙一
							田
							杉田
							清二
							田畑

三十一
東京
聖
大

東京経済大学
体育会ヨット部

選字ハ一デルⅡ